

川崎重工業株式会社 第58回・59回・60回無担保社債(社債間限定同順位特約付)レポーティング(2024年7月末時点)



2021年7月15日発行の第58回債(サステナビリティボンド)・2022年7月14日発行の第59回債(グリーンボンド)・2024年2月29日発行の第60回債(トランジションボンド)については、調達資金の全額を対象プロジェクトの一部に充当しており、未充当残高はありません。本社債の資金充当による環境・社会効果の各種指標は以下のとおりです。

クライテリア	プロジェクト	資金充当状況			インパクト・レポーティング(第58・59・60回)	
		第60回 (調達額: 100億円)	第59回 (調達額: 90億円)	第58回 (調達額: 100億円)	アウトプット指標	アウトカム指標
自動PCR検査ロボットシステム普及 	コンテナ式PCR検査システム関連の開発投資	/	/	全額 充当済 (20億円)	自動PCR検査ロボットシステムについては、高精度かつ大量の検査が実施可能な特徴を生かし、医療従事者による感染リスクの低減、早期の旅客需要回復への貢献、などこれまで社会課題に対してソリューションを提供して参りました。PCR検査件数は2023年度までに約85万検体に達しました。 なお、当事業については一定の役割を終えたと判断し、24年4月までに設備に含まれるロボットなど当該設備を処分いたしました。従い、資金充当状況または検体数について今後の更新はありません。	
	コンテナ式PCR検査システム関連の製造投資					
	自動PCR検査プラットフォーム(WEB予約システム等)の開発投資					
クリーン水素サプライチェーン構築 	クリーン水素サプライチェーン構築に向けた開発・実証投資	全額 充当済 (80億円) (※1)	全額 充当済 (90億円)	全額 充当済 (80億円)	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究開発、実証の進捗状況 <研究開発の進捗状況> <ul style="list-style-type: none"> 「技術研究組合CO2フリー水素サプライチェーン推進機構(HySTRA)」が所有する弊社が納入したパイロット実証設備において、2021年12月から2年にわたり液化水素の輸送実証試験を実施した結果、外部からの自然入熱により1日あたりで蒸発する液の比率(BOR:Boil off Rate)が、「すいそ ふうんていあ」の液化水素貯蔵タンクで0.3%/日、「Hy touch 神戸」の液化水素貯蔵タンクで0.06%/日となり、それぞれ計画値を上回る性能を発揮しました。いずれのBORも同クラスのLNG内航船、LNG貯蔵タンクと同等であり、高い断熱性を有していることが証明されました。(※2) 水素液化機に関しては、NEDOによる「GI基金事業」の「革新的液化技術開発」に係る採択を受け、大型化・高効率化に取り組んでいます。 液化水素ローディングアームシステムのスイベルジョイント方式(大型化)に関しては技術実証試験を継続しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水素利用によるCO2排出削減量(理論値)(※4)
	クリーン水素サプライチェーン構築に向けた製造投資	輸送したクリーン水素運搬量 (※3)				
水素クリーンエネルギー利用(混焼) 	発電用水素ガスタービン(混焼)の開発投資	全額 充当済 (20億円) (※1)	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <研究開発の進捗状況> <ul style="list-style-type: none"> 世界初となるドライ方式で水素専焼が可能な燃焼器を搭載した1.8MW級ガスタービンコージェネレーションシステム「PUC17MMX」の販売を開始しました。なお、本燃焼器はNEDOの「水素社会 構築技術開発事業」の一環として、「ドライ低NOx水素専焼ガスタービン技術開発・実証事業」(2019年度～2020年度)、「水素CGSの地域モデル確立に向けた技術開発・研究」(2021年度～2022年度)において開発した技術を活用しています。(※5) 	
	発電用水素ガスエンジン(混焼)の開発投資					

※1 2021年度～2023年度の新規支出及びリファイナンス資金として充当
 ※2 プレスリリース: https://www.khi.co.jp/news/detail/20231211_1.html
 ※3 2031年度までに、日本への水素運搬可能量22.5万t/年以上を目標とする

※4 ※3で輸送した水素(22.5万t/年)を利用することによるCO2排出削減量は約160万t/年(理論値)
 ※5 プレスリリース: https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20230905_1.html